

- ◎ **供給電力量は**、出水率が前年度を大幅に上回ったこと、及び風力発電においては、風速の大きい冬期間に故障停止が少なく順調に稼働したことから、**127,524千kWh (25.4%) 増え、629,896千kWh**となりました。
- ◎ **経常収益は**、供給電力量が増えたことに伴い、電力料収入が増加したことなどから、**1億99百万円余 (4.8%) 増え、43億34百万円余**となりました。
- ◎ **経常費用は**、減価償却費や固定資産除却費が減った一方、修繕費や委託費が増えたことなどにより、**2億百万円余 (5.5%) 増え、38億55百万円余**となりました。
- ◎ また、有根沢地点開発中止に伴う建設準備勘定の償却により **特別損失を1億6百万円余計上**しました。
- ◎ この結果、**経常利益は前年度を百万円余 (△0.3%) 下回る、4億78百万円余**となり、**純利益は**、特別損失を計上したことにより、前年度を**1億7百万円余 (△22.4%) 下回る、3億72百万円余**となりました。
- ◎ **経営目標と比較**すると、経常利益は2億75百万円の目標に対して、**2億3百万円余上回り**しました。また、**経常収支比率は107.0%の目標より5.4ポイント上回り、112.4%と目標を達成**しました。

平成25年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		4,334,338	4,134,613	199,725	4.8%
経常費用		3,855,757	3,654,641	201,116	5.5%
経常利益		478,581	479,972	△1,391	△0.3%
特別損失		106,215		106,215	皆増
純利益		372,366	479,972	△107,606	△22.4%

経営目標に対する実績

(単位：千円、%) 税抜

		平成25年度	平成24年度
経営目標	経常利益	275,000	276,000
	経常収支比率	107.0	107.0
実績	経常利益	478,581(+203,581)	479,972(+203,972)
	経常収支比率	112.4(+5.4)	113.1 (+6.1)

1 電力の供給状況

区分	年度	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	比較	
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B
電力量		629,896千kWh	502,372千kWh	127,524千kWh	25.4%

※上の表は、15水力発電所と1風力発電所を合計した電力量。

- ◎ 県営15水力発電所の供給電力量は、年間を通じて豊水であったため、出水率が前年度を大幅に上回った (89.6% → 119.6%) ことから、**127,068千kWh (25.5%) 増え、625,762千kWh**となりました。
- ◎ 稲庭高原風力発電所の供給電力量は、平均風速が前年度と同値(7.0m/秒)であったものの、風速の大きい冬期間に故障停止が少なく順調に稼働したことから、**456千kWh (12.4%) 増え、4,134千kWh**となりました。

2 経常収益の状況

- ◎ 経常収益は、供給電力量の増加に伴い、電力料収入が206,579千円増えたことなどにより、**1億99百万円余 (4.8%) 増え、43億34百万円余**となりました。

3 経常費用の状況

- ◎ 経常費用は、減価償却費 (△51,522千円) 及び固定資産除却費 (△33,917千円) が減ったものの、仙人発電所2号水車発電機分解点検補修工事などによる修繕費の増 (222,452千円)、及び委託費の増 (51,411千円) などにより**2億百万円余 (5.5%) 増え、38億55百万円余**となりました。

4 特別損失の状況

- ◎ 有根沢地点開発中止に伴う建設準備勘定 (委託費72,787千円、建設負担金22,627千円、等) の償却により、**特別損失を1億6百万円余計上**しました。